

NAKATSUGAWA CENTER ROTARY CLUB WEEKLY REPORT



寄仕しよう みんなの人生を豊かにするために

クラブテーマ 「不遇流行」

～ロータリークラブのニューノーマルとは～



【本日のプログラム】

バルティール AI 昼食 12:00 点鐘 12:45 例会前：臨時理事会

- ・開会点鐘
- ・国歌「君が代」Rソング「奉仕の理想」
- ・ゲストビジターの紹介
- ・会長の時間
- ・会員慶事（会員、夫人誕生日）
- ・出席報告／スマイルボックス
- ・委員会／幹事報告
- ・卓話の時間（会長エレクト・常任委員長）
- ・閉会点鐘

6月会員慶事

◆会員誕生日

鈴木欣也君 S50年6月3日
丹羽大祐君 S42年6月4日
堀 正勝君 S38年6月8日

荒井幹広君 S42年6月23日
成木崇久君 S45年6月26日
武井 理君 S46年6月30日
山神明男君 S49年6月30日

◆夫人誕生日

小倉小夜さん 6月2日
幸脇友子さん 6月20日
福田優子さん 6月25日

6月Rレート

1ドル:127円
※5月=130円

5月30日(月)例会報告 卓話：丸山 淳 県観光国際局長 (バルティール AI 12:45点鐘)



本日のゲスト丸山 淳氏



中津川市から卓話聴講



会長の時間：赤座会長



R財団寄付認証：MPHF2 垂見君・PHF 荒井君



ゲスト紹介：丸山常任委員長 卓話の時間



出席報告：加藤委員長



スマイル発表吉川君

出席報告

5月30日(月)例会
出席率：70.00%
会員総数 55名
免除者 5名

クラブ
ホームページ



スマイルボックス

本日の申告 11P 累計 P647

・岐阜県商工労働部 観光国際局長丸山淳様、本日はお忙しい中当クラブ例会にお越しいただきまして誠に有難うございます。本日の卓話楽しみにしております。宜しくお願いします。 また、中津川市商工観光部長 張山知宏様、中津川市観光局長 小池晃正様、中津川市文化スポーツ部部長 松井嘉之様、当クラブ例会にお越し下さいまして有難うございます。歓迎致します。 **会長 赤座 薫 副会長 丹羽大祐 幹事 成木崇久**

・岐阜県観光国際局 丸山局長ようこそおいでいただきました。岐阜県政に於けるリニアのまちづくり、県づくりを通じた地域の観光のお話を楽しみにしています。 26日の一般社団法人中津川法人会 50周年記念式典滞りなく開催出来ました。引き続きの記念事業はマラソンランナー有森裕子氏を招いての記念講演、中津川出身の車椅子の垣内君を交えての対談を行い多様性の時代へ向けてそれぞれの法人の立場として一つの指標がとを考えています。又、当日取材のTVニュースが今晚6:15から岐阜放送で放映されます。

昨29日開催しました第5回清流木曾川中津川リレーマラソン大会 900名の参加を得て好天気の下開催することが出来ました。関係各位には定期的に遅くそれぞれ協賛をお願いしましたが間違いなく掲載されていますのでご理解よろしくお願ひします。なお明年も5月4日曜日 日本ダービー開催日に開催します。日本ダービーの日は過去50年間一度だけの雨でしたので、開催日としてこの日を選択しています。 **丸山充信**



～ドクタージャズ 内田 修～

私の義父、内田修は、平成28年12月、大好きだったチャーリー・パーカーのもとへ旅立った。86年の人生であった。医師としては、岡崎の内田病院を平成5年には閉院したが、戦後のジャズの発展には欠くべからざる存在であり、多大なる功績を遺したワンアンドオンリーであった。

内田修はドクタージャズと呼ばれていた。名古屋の老舗ライブハウスにはドクタージャズの指定席があった。栄のラプリーであればステージに向かい合った奥のカウンター、覚王山のスターアイズであればステージに半ば背を向けたカウンターであった。ライブの休憩時にはミュージシャン達とにこやかに言葉を交わした。

若き頃、昭和37年には、当時最先端であったソニー製重量級テープレコーダーを抱えて、東海道線の夜行に乗り、東京のライブハウスへ赴き演奏を録音した。これが昭和47年にレコードアルバム『幻の銀巴里セッション』として発表された。本邦ジャズの黎明期を示す上での貴重な1枚となった。

昭和39年には病院の地下にドクターズ・スタジオをつくり、ここで有名ミュージシャンのセッションが行われテープに記録された。何と、セロニアス・モンクも演奏録音しているし、後にはリー・リトナーも訪れている。

同年、名古屋ヤマハ・ジャズ・クラブ（YJC）を創立し、納屋橋のヤマハビルで、平成9年に幕を閉じるまで150回のコンサートを開催した。プレイヤーのコーディネートを内田修が行うことにより、東京ではできない組み合わせの演奏が名古屋で聞くことができたという貴重なものであった。

また、この年は彼にとっては人生の最大の当たり年だったようで、2か月間の海外病院見学という名目の傍ら、ほぼ単独行動でサンフランシスコ、ロサンゼルス、ニューオリンズ、ニューヨークで本場のジャズを浴びるほど体験することができた。

バド・パウエル、ジョン・コルトレン、チャールス・ミンガス、アニタ・オディ、ウディ・ショウなどなど、そこで偶然客として来ていたモダンジャズ史上最高のギタリスト、ウエス・モンゴメリーとも会っており、多分、ウエスが会話した唯一の日本人だったのではなかろうか？ここで、ウエスは日本に行くことを約束したというのだが、残念なことにこれは果たされることなく昭和43年に他界してしまった。この時代を生きた医師としては珍しく、英会話ができたことにより、このようなエピソードが生まれたのだろう。

今や日本を代表するジャズマン、ナベサダこと渡辺貞夫、ヒノテルこと日野皓正、秋吉敏子、山下洋輔らと若いころから親交を深め、演奏面、健康面から彼らを支えた。平成になってからは、ケイコ・リー、綾戸智恵、寺井尚子というアーティスト達を輩出した。有名無名に拘わらず、数多くのジャズマンを応援した。

平成5年に閉院した際には、12300枚に及ぶ膨大なレコードと多数のライブ録音テープを岡崎市に寄贈した。これにより、岡崎市は『ジャズの街 岡崎』というキャッチフレーズを産むことになり市立図書館りばらには『内田修ジャズコレクション』が設けられた。ここでは、今は無き内田病院のドクターズ・スタジオが再現されていたり、レコードをレーザープレイヤーで聞くことができたりと非常に興味深い施設である。

平成18年から始まった岡崎ジャズストリートも内田修がいなかったら存在していなかったことは明らかである。

以上のような内容はほんの触りでしかないが、異色な特筆すべきキャラクターを持ちえた医師がいたことを紹介させていただいた。



Coming Soon ～今後の例会プログラム～

【通常例会 昼食 12:00～12:40 例会 12:45～13:30 パルティール AI】

- ・6月6日(月) 通常例会(執行部) 卓話:「次年度に向けて」堀 正勝会長エレクト
 - ・6月13日(月) 通常例会(執行部) 卓話: 常任委員長挨拶 ガバナー補佐、次期ガバナー補佐引継ぎ訪問
 - ・6月20日(月) 通常例会(執行部) 卓話: 会長、副会長、SAA、幹事挨拶 例会前: 定例理事会
 - ・6月27日(月) 特別休会
- 2022-23年度第49期
- ・7月4日(月) 通常例会(執行部) 就任挨拶・定時総会